

会 議 記 録

会議名称	令和6年度第1回杉並区健康づくり推進協議会	
日時	令和6年9月5日(木) 午後2時00分～午後3時25分	
場所	杉並区役所 4階運動室	
出席者	委員名	野崎会長、稲葉委員、真砂委員、中村委員、堤委員、藤巻委員、川名委員、松岡委員、石井委員、小森田委員、中川委員、氏橋委員、中島委員、前山委員、秋山委員、芝山委員、小川委員
	事務局	杉並保健所長、健康推進課長(健康危機管理保健調整担当課長)、歯科衛生担当課長(高井戸・和泉保健センター担当課長)、健診担当課長、生活衛生課長、保健予防課長、保健サービス課長、高円寺・上井草保健センター担当課長、健康推進課健康推進係長、健康推進課栄養指導担当係長、健康推進課歯科衛生担当係長、健康推進課健診係長、保健サービス課健康づくり調整担当係長、保健予防課保健指導担当係長
傍聴者数	3名	
配付資料	資料1 杉並区健康づくり推進協議会委員名簿 資料2 杉並区健康づくり推進協議会条例 資料3 健康日本21(第三次)及び東京都健康推進プラン21(第三次)の主な概要について 資料4 杉並区健康医療計画 改定素案 概要版 資料5 杉並区健康医療計画 改定素案 資料6 杉並区健康づくり推進条例の規定に基づく目標及び指標	
会議次第	1 開会 2 保健所長あいさつ 3 委員紹介・委員委嘱 4 会長互選、副会長指名 5 報告・協議事項 (1) 健康日本21(第三次)及び東京都健康推進プラン21(第三次)の主な概要について (2) 杉並区健康医療計画の改定素案について (3) 杉並区健康づくり推進条例の規定に基づく目標及び指標について 6 その他 7 閉会	
健康推進係長	(自己紹介・司会挨拶)	
健康推進課長	(自己紹介・挨拶) 皆様のお手元にある委嘱状でございますが、本日の議事の進行の都合により席上に配付させていただきました。任期は、令和8年8月までとなっております。	
杉並保健所長	(自己紹介・挨拶) 資料2に杉並区健康づくり推進条例というものを配付させていただ	

	<p>いております。この前文の3段落目ですけれども、この推進条例の制定の目的を「全ての区民が社会とのつながりを生かし、生涯にわたって健やかでいきいきと暮らせる健康長寿の地域社会の実現を目指し、健康づくりを推進する」、これが健康づくり条例の制定の目的ということになっております。</p> <p>この推進協議会はこの条例に基づいて設置しており、区長の附属機関と位置づけられております。</p> <p>条例の第3条第2項ですけれども、「健康づくりは、区民、事業者、関係団体及び区がそれぞれの役割及び責務を踏まえ、連携を図りながら協働して取り組むことにより行われるものとする」とありまして、今まで区民、様々な関係者の皆様にご協力いただいて健康づくりを進めてきたところですが、今後もこの条例の精神にのっとり、皆様のご協力を頂きながら、それぞれの役割を果たして健康づくりを推進していきたいと考えております。</p> <p>さて、今般、国が健康増進計画である「健康日本21」、また東京都の健康増進計画である「東京都健康推進プラン」というものを改定したことで、今回、その改定を踏まえて、区としても健康医療計画を今年度改定しようと考えております。</p> <p>時代は本当に大きく変化しておりまして、例えば高齢化がどんどん進んでいたり、あるいは疾病構造が変化したり、あるいはICTがどんどん推進されていくとか、そういった時代の変化にしっかり対応できるように、それぞれの健康課題を踏まえて健康づくりの取組をまたブラッシュアップしていければいいかなと思います。</p> <p>今回はそちらに関して皆様方からの意見を賜ればありがたいと思っているのですが、杉並区民のさらなる健康の増進に向けて、ぜひ活発な意見交換ができればありがたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
健康推進係長	<p>本日は、20名中16名の委員にご参加いただいております。また、1名の方はオンラインでのご参加となります。定足数である過半数を満たしていることをこの場でご報告させていただきます。</p> <p>(資料確認・協議会の流れを説明)</p> <p>まず、会長を選任いたしまして、会長から副会長をご指名いただければと思います。次に、協議事項、報告事項を事務局からご説明させていただきます。その内容につきまして皆様からご意見等をお伺いできればと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>(委員を紹介)</p>
健康推進係長	<p>それでは、早速、会長の選任を行わせていただきたいと思います。お手元の資料2、健康づくり推進条例第13条第1項の規定により、本協議会の会長は委員の互選となっております。どなたか適当な方がいらっしゃればご推薦いただければと思います。お願いします。</p>
松岡委員	<p>前会長の野崎さんに引き続きお願いできればと思っておりますが、いかがでしょうか。</p>
健康推進係長	<p>では、野崎委員に会長をお願いしたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。(拍手)</p> <p>ありがとうございます。副会長について、条例13条第3項の規定により会長の指名となりますので、野崎会長、副会長のご指名をお願いいたします。</p>

野崎会長	<p>副会長につきましては、本日もご欠席になられていますが、下光委員を指名いたしたいと思っております。</p> <p>ご欠席と連絡を受けておりますので、後ほど事務局より本人の了承をご報告いただきたいと思います。と存じます。</p>
健康推進係長	<p>ありがとうございます。それでは、こちらは事務局からご本人様にご了解を取りまして、本日の会の終わりまでにご報告できればと考えております。それでは、今後の議事進行を野崎会長にお願いしたいと思っておりますので、就任のご挨拶も含めて一言お願いいたします。</p>
野崎会長	(会長就任挨拶)
健康推進課長	<p>(資料説明)</p> <p>資料3「健康日本21(第三次)及び東京都健康推進プラン21(第三次)の主な概要」について、国の計画である「健康日本21」の全体像から簡単にご説明します。</p> <p>「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」、これが国のビジョンで掲げているところです。</p> <p>「基本的な方向」に「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」・「個人の行動と健康状態の改善」・「社会環境の質の向上」・「ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり」があり、基本的な方向については、「杉並区健康医療計画」にもしっかり反映していく考えです。</p> <p>今回の国の計画でも、今までに盛り込んでいない新しい考え方を入れているところがございますので、そこをご説明します。</p> <p>「女性の健康については、これまで目だちされておらず、性別に着目した取組が少ない」ということで、今回「女性の健康を明記」したことが国の取組の1つでございます。こちらでも区で検討しているところです。</p> <p>2番目に「健康に関心の薄い層など幅広い世代に対して、生活習慣を改めることができるアプローチが必要」ということで、「自然に健康になれる環境づくり」を掲げておりまして、こちらでも取り入れていきたいと考えてございます。</p> <p>裏面が「東京都健康推進プラン21」の概念図です。東京都も、総合目標は国と同じ「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」でございます。</p> <p>東京都は3領域18分野ということでそれぞれ領域別の目標を掲げており、領域3「ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり」ということで、「こどもの健康」「高齢者の健康」、そして国も取り上げていた「女性の健康」を掲げております。杉並区もこの考え方で、先ほどの「女性の健康」に加え「こどもの健康」「高齢者の健康」、杉並区は成人期(働き世代)の健康も加えて、計画改定をしていきたいと考えているところです。以上でございます。</p>
野崎会長	(質疑応答) ※質疑なし
健康推進課長	<p>(資料説明)</p> <p>資料4と5のご説明をさせていただきます。</p> <p>まず、資料4の「杉並区健康医療計画 改正素案【令和7年度～令和9年度】の概要」を御覧ください。</p> <p>国と東京都の計画を踏まえまして、杉並区も、令和7年度からの改定を目指し、今年度改定作業をするところです。</p> <p>1「計画改定の基本的事項」で、この「杉並区健康医療計画」は、オレンジ色の冊子で令和5年度から9年度の計画として出来上がっております。先ほどの国の計画と東京都の計画が示されましたので、その</p>

改定要素を加えて杉並区の計画も改定します。

1 「計画改定の基本的事項」は、杉並区健康医療計画が「健康増進計画」「食育推進計画」「がん対策推進計画」「自殺対策計画」の4計画を包含する計画であるということのご説明です。

大切なところは「改定の経緯と方向性」というところですが、先ほどご説明した、国の「健康日本21」及び「東京都健康推進プラン21」を受けて、この計画を改定するものですが、杉並区も、「誰もが生涯にわたり、健やかで心豊かに暮らすことができる持続可能な社会」を目指しておりまして、具体的に4点の取組を実施したいと考えております。「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」「個人の行動と健康状態の改善」「社会環境の質の向上」、「ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり」に取り組んでまいります。

「施行及び期間」は、令和7年度から9年度の3年間の計画でございます。

2 「施策別の計画内容」ということですが、この改定のポイントで、ライフコースアプローチという考え方が示されたことから、新たな重点取組として3点を杉並区は掲げていきたいと思っております。

1点目が「ヘルスリテラシーの向上」、2点目が「成人期（働き世代）への健康づくり活動の推進と支援」、3点目が「女性の健康づくり活動の推進と支援」でございます。

「ヘルスリテラシー」という言葉は初めて聞かれる方もいらっしゃるかと存じますが、簡単に申し上げますと、健康に関する情報を適切に入手して、理解して、活用することができる、能力または取組のことです。

個人の方が自分でできるという取組ですが、ヘルスリテラシーの向上」を区民の皆様を目指していただきたいと考えているところで

右側の「施策別の計画内容」に移ります。第3章は資料5でご説明しますが、この冊子を構成する全部で5つの施策を掲げております。特にご説明したいところが、施策1「いきいきと住み続けることができる健康づくり」。主に事業項目が6つございまして、新しくこの改定で取組として入れているところは、事業2「健康づくりを支援する社会環境の整備と質の向上」というところを新たな項目として入れてございます。

施策ごと新しい項目として入れさせていただいたのが、施策2「ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりの推進」ということで、子ども、成人期、高齢期、あと女性の健康という4点を事業として掲げております。

施策3は「がん対策の推進」。施策4は「地域医療体制の充実」。
施策5は「健康危機管理の推進と安全な環境衛生の確保」でございますが、主に皆様にご意見を頂きたいところは、健康づくりの計画の改定に関わる場所ですので、施策1から施策3を中心にご意見を頂きたいと思っております。

「自殺対策計画」もこちらに包含されておりますので、「自殺対策計画」も成果目標を設定し、計画には盛り込んでいるところでございます。

資料4につきましては以上です。

続きまして、関連しますので資料5も説明させていただきます。
「健康医療計画」の第3章、31ページに、「第3章の見方」が記載しております、施策の考え方、課題、現状目標値、実計事業であるかとい

った様々な項目が出てきますけれども、これは章ごとに同じような掲載になっておりますので、参考にしていただけたらと思います。

32ページの「いきいきと住み続けることができる健康づくり」の下、こちらが現状の課題等が書かれているところですが、『人生100年時代』を迎え、生涯にわたって健やかに暮らせる健康長寿社会の実現を目指し、杉並区の健康づくり推進条例に基づき、区民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組みやすい環境の整備を推進していくとともに、健康づくりに向けた様々な取組を支援していきます」ということで、施策が構成されています。

現状の課題、目指すべき姿、成果指標の現状と目標値ということで、令和9年度までの計画ではございますけれども、12年度まで目標値を掲げているところです。

こちらで新しく取り入れたところが事業2でございますので、36ページになります。(2)「ヘルスリテラシーの向上」ということで、こちらが新しく今回の計画で入れたところがございます。

健康に関する情報を適切に収集し、正しく理解して、それを実際の行動につなげていくことができるよう、1人1人のヘルスリテラシーを高めていけるような健康講座の開催や健康づくりの情報の発信を今後行ってまいります。

3年間の取組として、若い世代から、健康づくりや高齢者の介護予防など、本当に幅広く講座や対面式で説明することはもちろんですが、ICTを活用したオンライン講座や動画配信など様々なツールを活用にチャレンジしていきたいと考えています。

後ほど説明しますが、「目標及び指標」がございます。こちら、新しい事業を入れた場合にそれに見合うような目標、指標を入れてございますので、事業の取組と目標、指標が合っているかなどの視点で見ていただけたらと思います。

今回「ヘルスリテラシーについて、知っている者の割合」というのを、多くはないのですが、一部、働き世代の方に調査をいたしまして、「アンケート調査」と書いてありますが、実は知っている人は2割しかいなかったというところがございます。これからの視点を理解していただくには、普及啓発や様々な取組を通じてお知らせしていくことが大事というところで、数を増やしていきたいと考えているところです。

また、施策2「ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり」ということで、56ページをお開きください。

子どもの発達段階に応じた生活習慣の確立、働き世代である成人期の生活習慣の確立を維持、生活習慣病予防というのも大きな課題です。また高齢者の生活機能の維持や、女性の特性を踏まえた取組など、ライフステージを通じた健康づくりを推進していきます。

「現状と課題」も見ていただきますと、特に女性の健康課題に取り組むというところでは、若い女性における健康課題の1つに「やせ」という健康課題がございます。それによって様々な、月経不順や女性ホルモンの低下や、課題も出てくるということで、杉並区もこの「やせ」に対する指標は取ってございますので、こういう世代にも働きかけを強めていきたいと思っております。女性は思春期、成熟期、更年期、あと老年期など、各ステージにおける健康課題がそれぞれ違いますので、そういったところにも適切に支援が行えるような事業や計画を実施していきたいと考えています。

	<p>67ページを御覧ください。「成人期における健康づくりの推進」です。「主な取組」のところですが、「職域との連携推進・働く人への健康支援」ということで、成人期は幅広い年代でございますが、職域との連携を進めていきたいということで、改めて挙げさせていただいています。</p> <p>3年間の取組ですけれども、「働く人の健康づくり」を推進するために、区内の企業や社会福祉施設等における健康意識や健康づくり推進活動に関してのアンケート調査を実施しまして、状態把握に努めるとともに、それぞれの企業やそういった施設によって健康課題が異なってくると思いますので、実態把握と情報発信充実に努めていきたいと考えております。</p> <p>68ページの「目標及び指標」に新たに入れさせていただきました。これもアンケート調査を参考にしているのですけれども、「生活習慣病予防に取り組むと認知症予防につながるということを知っていますか」の質問には、かなりの方が「はい」と答えてくださっていました。</p> <p>健康問題でストレスを感じている方というのも22%いらっしゃいましたし、女性の方に関しては「職場環境が女性に対して配慮された、いろいろな健康課題に配慮された職場ですか」という質問は、割と女性が多い職場にアンケートが取れたのですけれども、7割ぐらいの方が「そういった配慮があった」と答えていただいています。</p> <p>女性の健康づくりというところで、78ページになります。今後、女性の健康課題というところはライフステージごとに様々広がっておりますので、ライフステージに応じた対策を推進していくというところでは、この「事業の方向性」の丸の3つ目になりますけれども、病気の予防、あと健（検）診受診等の行動変容につなげるために、「女性の健康週間」というものが、3月に行っておりますが、イベントや、正しい知識の普及啓発に取り組んでいくということと、一番下のほうに書かれていますが、更年期や高齢期になってきますと骨の代謝バランスが崩れるというのが女性の特徴としてございますので、骨粗鬆症というところも、予防や対策に取り組んでいくということも計画に掲げてございます。</p> <p>80ページ、81ページに「女性特有のがん対策」と「骨粗鬆症対策と検診受診に向けた検討」ということで、骨粗鬆症に関しては、様々な、早期に発見して早期に対応できるような、普及啓発はもちろんですけれども、検診等の実施に向けた検討も進めてまいりたいと考えております。</p> <p>ほかにも、がん対策の推進であるとか、災害の対応であるとか、健康危機管理の対応とか、様々出ておりますが、今日は健康という切り口の施策のところでも新しい取組、また変更したところを中心にご説明させていただきました。</p> <p>資料4と5のご説明は以上でございます。</p>
野崎会長	(質疑応答)
小川委員	<p>女性の多い職場に対するアンケートの結果、女性に対する配慮があったという結果というご説明があったのですけれども、女性特有の抱える問題が違って、実際、私の身近で経験しているのは、働きながら妊活する上に体外受精をしている方がたくさんいらして、そういう方のための休暇があるかどうか、経済的な補助とか、そのための休暇が必ずしもある職場ばかりではないのと、身近な方にも流産したのですけれども、ただ有休を取るしかなく、その有休の途中にも在宅で働いていたと</p>

	<p>いう現実があって、大きな会社ですけれども、それを言い出しにくいとかいろいろあるので、また、つわりなのに我慢していらっしゃる方で、本当にひどいときには有休を取っているとかがあるので、配慮があったという結果ですというので終わらせないで、そういう声もあるというのを保健所の方々がご理解していただいて、今後の「健康日本21」とか「東京都健康推進プラン」に声を上げていく機会があるならば、もっと細かく声を聞いて、上げていっていただきたいなと感じます。</p> <p>また、骨粗鬆症は、検診については実現を待ち望んでいたところなので、この3年の計画の最後には検診が実現するような方向になっているのですけれども、検診が気軽に受けられるようになるというのと思うのです。</p> <p>働いている女性の声を挙げると、それが区の検診になって区の税金が上がるほうが嫌だと言うのです。検診にお金がかかることになって、私たちの税金で引き落とされる金額が増えるほうが嫌だから、私にそんな検診を実現するように叫んでほしくないと言われて、本当にいろいろな意見があると思うので、あまりお金のかからない方法で、多くの女性が骨粗鬆症、これは本当に間接的に寝たきり予防となる大切な取組だと思うので、本当にプロの皆様の知識を集約して、いい方向に持っていただけたらなと思います。</p>
野崎会長	事務局から何かありましたら。
健康推進課長	<p>大変貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>まず、先ほど女性に配慮ある職場というところは、アンケート調査も、区内の保育施設にこのアンケートを実施したところですよ。200人を超える回答が返ってきました。保育施設ということで、かなり女性が多い職場で、それなりに、女性のためのいろいろなしつらえとかも保育施設であったりする環境の職場の方たちと、障害者施設で働いている方たち100人弱ぐらいのアンケート結果が返ってきたのですけれども、このアンケートは、福祉施設に聞いているものです。</p> <p>また違う職種であるとか、いろいろな事業所さんでアンケート調査を取っていくと、かなり差が出てくるのかなと我々も考えておまして、今年度、予算もない中で、身近で働いている方にアンケートを取ってみたいところなので、少しデータの的にも幅広く取ったわけではないということで、保育施設と障害者施設の一部の方に聞いたということです。</p> <p>本当にこういった働きかけは、我々だけではなく、様々なところから、国や東京都も取り組んでもらいたいと伝えていくことが大事だと考えるおり、様々取り組むことで、アンケート調査をすることが普及啓発になっていると考えておりますし、様々取り組んでいる事業者を紹介したいと考えております。</p> <p>骨粗鬆症については、まだまだこれからしっかり検討していきたいと思っています。今日も医師会の先生方や、医師会の会長も来てくださっていますけれども、どういった検診が効果的であるとか、どういった取組がより皆さんに伝わるのかとか、まだこれから検討を始めるところなので、しっかり検討したいと考えております。ご意見を頂きましてどうもありがとうございました。</p>
野崎会長	どうもありがとうございました。どうぞ。
中川委員	少しお金の話になってしまうかもしれないのですけれども、今、私が所

	<p>属しております町会連合会で、まちの食堂ということで、子どもを含めた食堂を運営しております。今、杉並では45を超えた子ども食堂がネットワークでつながっていますけれども、実際に皆さん、お金のことで運営が非常に苦しい状態が出ています。</p> <p>昨年、杉並区から助成があったのが、社協から10万円と、物価高騰対策ということで6万円の補助がありました。ただ、実際それでは全く足りない中でやっているのですけれども。</p> <p>私たちの町会連合会では、孤食の老人を含めた中での食育というか、一緒に3代にわたって、その中で和気あいあいと食事ができる。そういう中も含めて孤食の老人を入れるためにあえて「子ども食堂」という名前はつけなかったのですけれども、非常に皆さん来られて、食事や話をし、非常に喜んでおります。</p> <p>食はとても大切で、子どもの貧困がうたわれて、子どもに食育というのは非常に大事だというのは、現実的にまざまざと見てきています。</p> <p>例えば子ども食堂の基金だとか、そういうのはできないのか。</p> <p>姉妹都市や提携都市との中で、そういうところの農産物を例えばふるさと納税の返礼品にするとか、そういうことは考えないのかという話をしたら、全然前へ進んでいないというような状態です。</p> <p>あと、60歳以上の方のポイントというか、2割を基金にお渡しするのですけれども、そういう中でもそういう、子どもの未来に対する対策を考えてほしい。</p> <p>東京都からはある程度はそうやって助成金は下りているのですけれども、世田谷とかそういうところと比べると、杉並区は遅れているのです。ここで話す話なのかちょっとあれですけれども、その辺を皆さんにも考えていただきたいと思います。以上です。</p>
野崎会長	ありがとうございます。
健康推進課長	<p>こちらもちまた貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>子ども食堂だけではなくても、そういったお子さんとご高齢者の方や地域の方がつながるといのは、食べることでつながったりするのは健康づくりにつながっていると捉えておりますので、こういった地域の取組は非常に大事なものと聞いておりました。</p> <p>子ども食堂の推進に関する事は、地域福祉の取組で考えている部署もごございますので、地域福祉分野とも連携を取りまして、今のご意見も伝えながら、一緒に考えていきたいと思ひます。</p>
野崎会長	<p>ほかにはいかがでしょうか。</p> <p>特にございませんので、先へ進んで、また後でご意見あれば伺いたいと思ひます。</p>
健康推進課長	<p>(資料説明)</p> <p>資料6を御覧ください。「現状と課題」と「目指す姿」に向けて、こういった数値目標を目に見える目標を掲げ、目標に向かって取り組むことが計画を実現していくということになります。</p> <p>1ページ目ですけれども、一番は「健康寿命の延伸」ということで、杉並区、最新値として65歳の健康寿命ですけれども、男性が83.5歳、女性が86.6歳でございます。健康で寿命を延ばしていきたいところで、令和9年度、新たな目標値は、男性84.2歳、女性は87.8歳となっております。</p> <p>この「ヘルスリテラシーの向上の推進」というのは、新たな計画です</p>

	<p>ので、新規で目標値を記載させていただきました。こちら先ほどご説明したところに重複しますので省きますけれども、ヘルスリテラシーを知っている人の割合、定期的に健診を受けている人の割合、体重のこと、禁煙等々のことも指標化しております。</p> <p>これは、杉並区的生活習慣行動調査という3年ごとに取り替えている調査を基に傾向を出してございまして、この最新値を基に、取り組んでいただける割合を増やしていきたいと考えています。</p> <p>特に標準体重に関しては、東京都が「男性」「女性」と分けて指標を出していますので、杉並区も分けさせていただいております。</p> <p>2ページ目「地域のつながりを醸成する」というところで、一番下「スポーツボランティアの活動をした者の割合」の目標値が変わってございます。3ページ目は「健康づくりに取り組む団体の育成・支援」ということで、健康づくりリーダーの登録数、また、「成人の方が週1回、スポーツ・運動を実施する割合」を新たにつけさせていただいております。</p> <p>また「社会参加を営むために必要な機能を維持する」ということで、ライフコースアプローチの1つの指標ですけれども、「健康であると感じている区民の割合」、こちら新たな指標で加わっています。6ページの「妊娠から子育て期の切れ目ない支援を充実する、これは乳幼児健診のときにアンケートを取ったものでございますが、「今後もこの地域で子育てをしたいと思いませんか」というところで割合が出ております。</p> <p>7ページも指標の変更です。8ページが「成人期における健康づくりの推進」ということで、「働き世代への健康支援を推進する」というところで、2つ新たな指標を入れています。</p> <p>1つは、「生活習慣病予防が認知症予防につながることを知っているか」という割合。先ほど言った、保育施設と障害者施設に取ったアンケートの結果です。2番目、「健康問題でストレスを感じている人の割合」ということで、指標に入れさせていただきました。</p> <p>オレンジ色のところは一部修正したところです。</p> <p>「休養が取れている人を増やす」も新たな指標で加わっています。</p> <p>10ページは主に修正箇所、「適正な質と量の食事をとる人を増やす」ということで、これは「主食・主菜・副菜をそろえて食べる高齢者の割合」ということで、新たな指標が加わっています。</p> <p>11ページも幾つか新たな指標が加わっていますが、「休養が取れている人を増やす」というところで、「睡眠で休養が取れている人の割合」というのも男女で出させていただいております。</p> <p>あと「女性の健康づくりの推進」は、こちら新たなところが増えてございますけれども、職場環境のことや、「女性の健康づくりの推進」に「30代女性のやせの者の割合」ということで、やせの割合が年齢ごとに、特に若い女性のということで20代、30代ということで、年代も分け指標を加えております。</p> <p>最後、12ページは、主には修正箇所ということで、最後、「がん検診精密検査受診率」ということで、これを新たな数字として加えております。これは、今の事業実績に基づいて目標値を定めたということです。</p> <p>目標・指標は以上でございます。</p>
野崎会長	<p>それでは、全体を通じてご質問、ご意見がまだおありの方、いらっしゃると思いますので、ご発言がありましたらお願いいたします。</p> <p>芝山委員、何かございましたら。</p>
芝山委員	<p>新たな施策の中では随分女性に特化したものが多いなという印象を</p>

	<p>受けました。</p> <p>また、資料6の8ページでは「働き世代への健康支援を推進する」ということですが、自分のことを振り返ると、働き世代のときはほとんどが職場中心で、住んでいる行政区、杉並区のことなど、ほとんど関心がなく、また、そこに注目する暇もなく働いたような気がするのですが、どのような形で働き世代への健康支援を杉並区として、杉並区役所にお勤めの方は除いて、大概の方は、杉並区から、起きて、電車等どこかへ行って働いているということだと、杉並区の行政としてどのようなことができて、またどのようなことを考えておられるかということについて、ご教示いただければと思います。</p>
健康推進課長	<p>ありがとうございます。資料5の67ページをもう一度見ていただけますでしょうか。おっしゃる通り、働き世代の方は、職場での健診など受けており、仕事をしている自治体が住んでいる自治体と一緒にすることはほとんどない方も多いため、アプローチは本当に難しいなと思っていたところです。</p> <p>まずは実態把握をしていきたいということで、杉並区にある事業者につとめる方々の実態を把握して、その方たちにアプローチをすることで、広く働き世代の方に何かできるのではないかと考えております。まず福祉施設の事業所にアンケート調査を始めたのですが、そのアンケートで分かったことが、皆様がお忙しいので、何で健康の情報を取っていますかということも質問も聞いたこととことです。</p> <p>そうすると、SNSであるとか、テレビとか、こういったメディア媒体とか、スマホ等の媒体から、得られる情報が多いのだなということが分かり、ヒントを頂いたとされていて、アプリとか、そういった健康の情報がスマホから、発信もでき、その方たちも、取り組んだらそれが反映できるような、健康アプリのようなものを取り入れている自治体も非常に多くて、それは住民だけではなくてその自治体で働く人たちも、アプリを使うと、先ほど長寿応援ポイントではないですが、何かインセンティブのようなポイントがついて、少しモチベーションが上がるようなものが得られるようなアプリであるとすごく関心も高くなると考えており、区としても取り入れていきたいと考えています。まだ検討の段階ですが、まずは実態を把握して、そういった健康づくりを広く周知するには、身近な、皆さんがよく手にするものとかで得られるようなところでやっていきたいなと考えているところです。</p> <p>働き世代の方たちも今日はたくさん来ておられますので、こういったアプローチをしていると響くとか、逆にご意見を伺いたいなと思っております。もしよければ氏橋さんから、商工会議所という立場からご意見を頂けるとうれしいなと思っております。</p>
野崎会長	氏橋委員、お願いします。
氏橋委員	<p>商工会議所から来ております氏橋です。うちの会社で言いますと、社員たちみんなに健康目標というのを毎年出させて、それに従って1年間、健康の状態がどう向上したのかとか、そういう話し合いをする機会をつくっています。</p> <p>ただ、杉並区の企業がみんなそういうことをやってはいないと思うので、とにかく社員が健康でないと会社の経営はうまくいかないので、商工会議所の中でも、そういう健康について考える機会を取っていききたいなと思っております。</p>

野崎会長	ありがとうございます。
杉並保健所長	ご意見本当にありがとうございます。働く世代の健康ということで、我々、職域との連携推進というところに1つ力を入れていきたいと思っているのですが、それ以外でも、どうやったら自治体から発信する情報が届くのかとか、非常に健康づくりを熱心にやられている方というのは多分ずっと熱心にやられていくので、そういう方々だけではなくて、健康づくりをする余裕がなかなかなかったりとか、あるいは関心が薄かったりとか、そういう方々にどうやったら我々が発信する情報が届くだろうとか、そういったことに関してぜひ皆さんのご意見を頂ければありがたいなと思っております。
小川委員	保健所の前に、自殺予防月間という掲示物が貼ってあったのですが、同じ貼るならば、そうなので、何かのときにはここにご連絡くださいとか、同じ貼るならもっと、連絡先とかアクセス先とかQRコードとかを、本当に立派な建物が随所にあって、多くの人が通るので、もっとべたべた貼ってもいいと思いますし、そこに全部アクセスできるように工夫をされるのはいかがでしょうか。
杉並保健所長	ありがとうございます。保健所としても、この建物を通じて普及啓発をもっとできるのではというご意見ではないかと思しますので、また所内でも検討して、響く方法で掲示するというところに関して、より推進していきたいなと思いました。ありがとうございます。
野崎会長	ありがとうございます。どうぞ。
芝山委員	ICTの活用という意味では、アプリというものが頭に浮かぶのですが、例えば、私のかすかな記憶ですが、横浜市ではウォーキングの歩数をカウントして、それをどういうふうにしているのかは分からないのですが、それを基に、ある程度の歩数を記録した人に何かメリットを差し上げるみたいなものや、そういうふうなことで行政と区民1人1人とを結びつけるというか、コンタクトして、そして皆さん方の情報も頂くとともに、杉並区の行政側からのこういう情報も差し上げるということもアイデアの1つかなと思いますので、もしよければ、横浜でどんなことをやったのかは私も横浜市民ではないのですが、参考にしてください。以上です。
野崎会長	ありがとうございます。何かございますか。
健康推進課長	ありがとうございます。我々も、時代背景も変わってきて、本当にICTが進んでいて、本当にすてきなアプリとかも開発されているように聞いていますし、先ほども言ったように、ほかの自治体も取り組んでいるという話も聞いています。 杉並区も実はウォーキングアプリがあるのですが、なかなか十分な普及が足りないというのが現状です。この計画改定に合わせて、先駆的に取り組む自治体を参考に、後発隊ですが、良い取組を取り入れながら、杉並区の区民の方にご提供したりしていきたいなと思います。ありがとうございます。
野崎会長	ほかに。どうぞ。
中川委員	たしか杉並区で杉並健康表彰、ありますよね。私たち杉町連でも、たった1日やっても駄目なのですが、1か月に1回、会議の前に全員でラジオ体操をやるということになってラジオ体操をやることになったのですが、その辺の普及というか、それはどうなっているのでしょうか。

健康推進課長	<p>ありがとうございます。高齢者部門でも介護予防的な体操をやっていますし、我々も糖尿病とか生活習慣病予防のための体操であるとか、ウォーキングコースの紹介とか、5分とか10分の短い動画から少し見ごたえのあるものまでいろいろ作成はしていて、QRコードで読み取れたりとか、イベントなんかではこういうのをやっていますよと発信はしたりしています。</p> <p>ただ、出来上がったときは非常に普及するのだけれども、それを継続的にタイミングよくご周知するとか、ぜひ、こういった集まりのときに取り入れていただくとか、身近なところで自然と取り入れられるように、本当に周知が大事だなと思っていますので、周知にしっかり努めたいと思います。皆さんが集まっているところで伝えるというのは、お一人だけではなくてたくさん広がるので、ぜひそういったところでの周知も検討していきたいなと思います。ありがとうございます。</p>
野崎会長	<p>どうも。ほかにいかがでしょうか。稲葉委員、何かご発言ありますか。</p>
稲葉委員	<p>今日はいろいろ貴重なお話を伺わせていただきましてありがとうございます。</p> <p>私たち医療機関では、実際に病気や老化による体の不具合や障害やけが、そういうものを持っている方たちがいらっしゃるの、そういう方たちのご意見をものすごく多く伺っているのですけれども、この4年半に及ぶコロナウイルス感染症による人々の社会活動の抑制などがあって、それがこの1年半、解除されて、社会のありよう、あるいは患者さんたちなどの体や心のありようというのは大きく変わってきているなというのは、すごく医療現場にいても感じます。</p> <p>そして、産業医や学校医といった、健康な状態で社会にいらっしゃる方たちに関わる立場の医師としても、心の問題や、体の不都合の問題や、いろいろな問題が起きているということが明らかになっています。</p> <p>いろいろ取り組まなければいけない課題というのがたくさんあるのですけれども、我々がコンタクトできる方たちというのは本当に一握りしかなくて、そういう方たちに、住んでいる地域や社会活動をしている地域の中で、いろいろな啓発活動ですとかを行っていくということが何よりも大事ななというのは日々感じています。</p> <p>なので、このような区取組の中で参加される委員の皆様が、それぞれのいらっしゃる場所で、いろいろなご意見、そして周りの仲間の方たちにいろいろな情報や啓発をし続けるというか、継続していくということがものすごく大切だなと感じています。</p> <p>かなりおおざっぱな話なのですが、やはりその取組が大事で、会社の中だとか、商店街のいろいろな、保健所にポスターを上手に貼りましょうという話が出ましたけれども、商店街の中とかで皆様が利用されるお店などにそういう情報を掲示していくということも必要かなと思いますし、医療や健康に興味がない方たちに伝わるような取り組み方というのは、まちでもできると思うということ。</p> <p>あともちろん、SNSを使ったりユーチューブを使ったりという取組もあると思います。ユーチューブを使ったりするのは、企画をするのもなかなか大変なので、そういうのは行政で頑張ってもらっていただくのも大事かなと思っています。</p> <p>あと今回、骨粗鬆症検診の話が出ました。実は医師会としては、もう10年以上前から、区に骨粗鬆症検診をやっていただきたいという要望は上げておりました。区にも上げていましたし、議会にも上げておりま</p>

	<p>した。ですけれども、時期尚早であったのかもしれませんが、全然実現には至っていませんでした。</p> <p>そういうものも含めて、私たちは、患者さんたちを見ていると、ここが困っているから何をしたらいいのかなということを提案しても、実現していくために干支の一回りは必要なのかなというのが結構実感です。</p> <p>こんなにスピード化された時代なのに、そういうような、公費を使っているいろいろなことをやっていくというのは、税金の問題がありますので、受益者と税金を払う側の方たちのいろいろな意見があると思うので、そこのバランスを考えていくということはとても大事なことで、最大限の方たちに利益を受けていただき、そして、そこで不利益を被る、あるいは費用の支出というのをしっかり抑えながらやっていくというのは、逆に言うとそこに取り組んでいく側の立場としてしっかり考えてやっていきたいし、医師会としても行政の方たちとよく相談をしながらやっていきたいなと思います。</p> <p>(杉並区医師会主催の、9月15日、セッション杉並で区民健康フォーラムを周知)</p>
野崎会長	ありがとうございます。何かありますか。
健康推進課長	稲葉先生、ありがとうございます。ご意見は本当に貴重なご意見なので、しっかり受け止めさせていただきます。ありがとうございます。
野崎会長	ほかにいかがでしょうか。どうぞ。
秋山委員	<p>杉並健康づくりリーダーの会でございますが、その会では、勉強会と称しまして、サービス課さんが作られた「はつらつ手帳」を使って勉強しております。健康づくりのためには、運動、栄養、休養、また口腔ケア、それに加えて社会とのつながりを、活動をしようということを教えてもらっております。</p> <p>そこにつきまして、この資料6の「地域のつながりを醸成する」という中で、「地域活動に参加している区民の割合」、これが最新で13.6%、これを4年後には20%に上げようという計画をお持ちなのですが、具体的な社会参加、こんなもの考えているよ、それをこのようにして区民の皆さんに情報提供して聞いてもらいたい、見てもらいたいと思っていられるのか、具体的なものが分かれば教えていただければと思います。</p>
野崎会長	お願いします。
健康推進課長	<p>ありがとうございます。社会活動の参加というのは、様々あると思うのですけれども、我々が考えているのは杉並区の中で身近な地域の中でつながることができる社会活動の参加というところを目指していけたらと考えております。</p> <p>ただ、社会参加というのは地域の中の活動だけではなくてももちろんいいのですけれども、地域活動という、身近な地域の中での取組が大事であり、健康づくりの皆さんとの活動もそうですし、地域の身近な場所で、ふらっと行っても気軽に参加できる場所が増えていったらいいなと思います。そのためには、そういった場所があるということもお伝えしなければいけないなと思っています。</p>
杉並保健所長	<p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>まさに今おっしゃっていただいたことを実現するにはどうしたらいいのだろうという、その方法論のところでは我々もいろいろ話し合っているのですけれども、それこそ本当に地域の方々のご意見を頂いて、地</p>

	<p>域の中のそういったアイデアを行政として実現していくというのも1つ方法としてあるのかなと思っていますので、今後、我々の中で、この新しい計画の中に位置づけた取組を実現化していくに当たって、ぜひ地域の方々のご意見を伺いながら、よりブラッシュアップした取組にしていきたいと考えておりますので、ぜひご協力お願いできればと思います。</p>
秋山委員	<p>これから地域の皆さんに働きかけをして、取り上げていきながら、具体的にまとめていくと。</p>
杉並保健所長	<p>そうですね。よろしくお願いします。</p>
秋山委員	<p>分かりました。</p>
野崎会長	<p>ありがとうございました。以上で本日の議事は終了いたしました。最後に事務局からご連絡お願いいたします。</p>
健康推進課長	<p>本日は、皆様から活発なご意見を頂きまして、本当にありがとうございました。</p> <p>次回、第2回の開催でございますが、12月頃を考えてございます。健康医療計画改定案、もう少し詰まった案について、説明と協議を取らせていただきたいと思います。</p> <p>先ほど、本協議会の副会長としてご推薦いただきました下光輝一先生から了承というご連絡を受けましたので、次回は来ていただきましてこの協議会で進めていけたらと思います。</p>
野崎会長	<p>それでは、閉会といたします。暑い日が続いておりますので、皆さん、健康にご留意のほどお願いいたします。お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございました。</p>